

近畿大学医学部奈良病院におけるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）検出事例に関するご報告

近畿大学医学部奈良病院において、入院中の患者様からバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が検出されました。その後、当該患者様と同じ病棟に入院する患者様への検査等を経て、これまでに13名の患者様からVREを検出しました。

検出されたVREに対する遺伝学的な検査の結果、院内伝播の可能性が高いことが判明しました。また、13名のうち4名の患者様が病院内で亡くなっておりますが、いずれもVREと死因に因果関係はないと考えています。

現在、第三者機関である奈良県立医科大学感染症センターと連携して、菌が伝播した経路の解析や伝播拡大の防止、マニュアルの見直しなどを行い、本件の終息を図るとともに再発防止に向けて取り組んでいます。

本件につきましては、地域全体への注意喚起が必要であると考え、ご報告致します。

2018年12月12日

近畿大学医学部奈良病院

院長 城谷 学

バンコマイシン耐性腸球菌

Vancomycin-Resistant Enterococci (VRE) とは

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は、バンコマイシン（VCM：MRSAなどグラム陽性菌に有効な抗菌薬）に耐性を獲得した腸球菌である。健常者の場合は、腸管内にVREを保菌していても通常、無害、無症状であるが、術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合がある。

国立感染症研究所ホームページから一部抜粋

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/469-vre.html>